



【2022年度全国大会のご案内】

2021年度全国大会(第21回)を2022年3月5日(土)・6日(日)に開催致します。テーマは「With/After コロナ時代の観光ホスピタリティ教育を考える」です。日程の概要は以下のとおりです。詳細は1月上旬にお知らせ致します。

1. 大会概要

- 3月5日(土) 成蹊大学(リアル会場) + オンラインでのハイブリッド型で実施
(成蹊大学: 武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1: 中央線・吉祥寺駅より徒歩約15分、バス約5分)
理事会、研究報告・教育実践報告(対面発表・オンライン発表)、シンポジウム
- 3月6日(日) 午前: ワークショップ

研究・教育実践報告の応募締切は2022年1月11日(火) 必着です。ふるってご投稿ください。

2. 研究報告・教育実践報告の募集について

全国大会における研究報告および教育実践報告の発表者を募集します。いずれも、会員を筆頭者にする発表が条件です(連名者は非会員も可)。希望される方は、学会ウェブサイトにある募集要項(全国大会様式1)と執筆要領(全国大会様式2)、応募用紙(全国大会様式3)をご確認のうえ、応募用紙に必要事項を記入し、電子メールで2022年1月11日(火)までに送付ください。なお一昨年度より、『全国大会発表論文集』が『全国大会発表要旨集』へと変更になりました。主な変更点は以下のとおりです。

- フルペーパー原稿ではなく各発表 A4 版で 2 ページの

要旨の提出となります。

- 要旨の執筆にあたっては専用のテンプレート(全国大会様式4)をご利用ください。
- 研究発表論文集印刷費用は不要となります。

要旨集原稿は、テンプレートご利用の上、執筆要領にしたがって作成し、2022年2月1日(火)までに電子メールで提出していただきます。なお、発表査読は行いませんが、内容・様式に著しく問題がある場合は、発表を認めない場合があります。

■ 発表応募締切 2022年1月11日(火) 必着

■ 発表要旨完成原稿締切 2022年2月1日(火) 必着

<大会論文集担当> 発表のご応募やお問い合わせはこちらまで。

大会窓口: taikai@jsthe.org

編集委員会 獨協大学 鈴木 涼太郎: suzukir@dokkyo.ac.jp

【理事会報告】

<2021年度臨時理事会>

日時: 2021年9月4日(土) 20:00~21:30

場所: オンライン会議システム Zoom を用いて実施

出席者: 宍戸会長、橋本副会長、藤田副会長、大串理事、芝木理事、千葉理事、中井理事、中村理事、難波理事、野口理事、福本理事、古本理事、峯俊理事、高橋監事、大島安奈幹事、澁谷幹事

開催に先立ち、新会長・副会長および各理事・監事・幹事の自己紹介を行いました。

[報告事項]

議事1. 各委員会報告

編集委員会より機関誌の進捗状況説明がありました。

[審議事項]

議事1. 今期方針説明

宍戸会長より期中の運営方針について資料に基づき説明がなされました。

議事2. 幹事の選任について

正会員の岩田聖子氏、鈴木剛氏、森園奈央氏を新任幹事として選任しました。

議事3. 今期委員会分担について

既存の総務委員会、編集委員会、広報委員会、新規事業委員会に加え、国際化も含めた学会の研究事業を活性化させることを目的とした委員会を設置することになりました。正副会長が全体を統括し、今後各委員会の委員長・委員の配置を行っていきます。

議事4. 研究会実施計画について (年度内2回を予定)

11月28日にオンラインにて第1回の研究会を実施することになりました。「コロナ禍における観光ホスピタリティ教育のチャレンジゼミ運営に焦点を当てて-」(仮題)をテーマに、宍戸会長を中心に企画されます。

議事5. 全国大会の方針について (日程など)

今年度の全国大会は、2022年3月5日(土)～6日(日)ないしは同年3月12日(土)～13日(日)での実施とし、具体的な開催方式などについては次回理事会で検討することになりました。

議事6. 意見交換

今後の理事会の進め方などについて意見交換を行いました。

次回理事会は2021年11月28日(土)13:00～14:30に開催されます。

<2021年度第3回理事会>

日時:2021年11月28日(土)13:00～14:30

場所:オンライン会議システムZoomを用いて実施

出席者:宍戸会長、橋本副会長、藤田副会長、大串理事、坂本理事、鈴木理事、千葉理事、中井理事、中村理事、難波理事、野口理事、福本理事、古本理事、板垣幹事、大島安奈幹事、大島知典幹事、澁谷幹事、鈴鹿幹事、森園幹事

[報告事項]

議事1. 各委員会報告

今年度新たに設立された研究事業委員会の福本理事より、委員会の役割、組織体制について報告がありました。

[審議事項]

議事1. 第2回研究会の扱いについて

会則に定められている年2回の研究会について、今年度は第2回研究会の開催を見送ることが承認されました。

議事2. 第21回全国大会に関する件

2022年3月5日(土)～6日(日)に開催すること、リアル会場として成蹊大学を設定することが承認されました。また、対面とオンラインを併用したハイブリットでの開催とすることも決定しました。全体テーマが検討され、「With/After コロナ時代の観光ホスピタリティ教育を考える」を候補とすることになりました。

全国大会のプログラムが検討され、5日に研究報告・教育実践報告とシンポジウムを、6日にワークショップを開催する方針で進めることとなりました。研究報告・教育実践報告は対面のみならずオンラインでの発表も受け付けることが決定されました。

前回大会では無料としていた大会参加費を有料(正会員・名誉会員・非会員:2,000円、準会員・学生:1,000円、特別会員:無料)とすることが決定しました。参加費の回収方法は今後の検討事項となりました。

議事3. 第21回研究発表会に関する件(編集委員会)

編集委員の中村理事より、第21回研究発表会の原稿募集スケジュール案が提示され承認されました。

議事4. Newsletterの発行、全国大会の案内スケジュールについて(広報委員会、事務局)

広報委員の野口理事より、全国大会の案内に向けたNewsletterの発行スケジュールが説明されました。

議事5. アンケートの実施について(研究事業委員会)

研究事業委員の福本理事より、事業(シンポジウム、研究会など)での企画立案を目的としたアンケートを実施することが報告されました。また、アンケートの内容が検討・修正されました。

議事6. 役員交代について(会長)

村上監事より役員辞任の申し出があったことが説明され、承認されました。後任監事の選出については、選出方法および臨時総会の開催方法を正副会長で検討し、2022年1月8日開催予定の理事会で諮ることとなりました。

議事7. 新規入会審査

正会員2名、準会員1名の入会が承認されました。

議事8. そのほか

編集委員会の鈴木理事より、機関紙第15号の進捗状況が説明されました。

次回理事会は2022年1月8日(土)13:00～15:00に開催されます。

【分科会報告】

2021年度、観光コミュニケーション分科会では、昨年度に続き第2回研究発表会を主催しました。当日は4件の発表があり、観光とコミュニケーションが関わるトピックに興味ある会員および非会員19名に参加いただきました。今年は研究発表と質疑応答のセッションの終了後に情報交換会・交流会を設け、「コロナ禍における観光と言語・コミュニケーション教育のありかたについて」をテーマににぎやかに意見交換が行われました。以下、当日のプログラムです。

<プログラム>

2021年10月10日(日)14:00～17:00 オンライン実施 (Zoom) 司会:中井 延美(明海大学)

14:00 開会の挨拶 藤田 玲子(成蹊大学)

14:05-14:25 接客コミュニケーションにおける二重敬語と敬語連結について

中井 延美(明海大学)

14:30-14:50 世界遺産地域における言語的接遇の現状と課題について:DMO支援による熊野古道を事例に 岩田 聖子(追手門学院大学)

14:55-15:15 クルーズ船入港における地域連携の問題
点とその取り組み

加藤 和美 (東海大学)

15:20-15:40 ホテル宿泊業務における接客コミュニケーションの Can-do ディスクリプターと CEFR レベルの検討

藤田 玲子 (成蹊大学)、田中 直子 (北星学園
大学短期大学部)、総田 はるみ (横浜商科大学)、
森越 京子 (北星学園大学短期大学部)、
林 千賀 (城西国際大学)、中井 延美 (明海大学)

15:45-16:55 交流会・情報交換会

(コーディネーター: 森越 京子 北星学園大学短期大学部)

テーマ: コロナ禍における観光と言語・コミュニケーション教育のありかたの意見交換

16:55 閉会の言葉 (総田 はるみ 横浜商科大学)

ピタリティ教育 (英語名: Annals of Tourism & Hospitality Education)』の投稿原稿を募集いたします。

観光ホスピタリティ分野の教育活動を行っている大学院、大学、短期大学、専門学校、高等学校はますます増加しております。会員の皆様がかかわったさまざまな教育実践の取り組みや学術的な研究の成果をぜひ、本学会の機関誌でご発表ください。

会員の皆様からの投稿を編集委員会一同、心からお待ちいたしております。また、編集委員会から原稿執筆などをお願いした際には、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

第16号の原稿締切日: 2022年4月30日(土)

原稿投稿先: 投稿申込書1部(ワード)と審査用原稿1部(ワードおよびPDF)にて本学会本部事務局(jimu@jsthe.org)にメールで送付。申込書は本学会ホームページからダウンロードください。

【観光ホスピタリティ教育の動向】

本学会の2021年度研究助成制度に採択された「科目「観光ビジネス」導入による観光教育推進のための高大連携に関する研究」に取り組むグループは、8/26(木)10:00~12:00にオンラインにて、第1回観光ビジネス教育研究会を開催しました。研究グループ4名(会員3名、学外の高教職員1名)のほか、文科省1名、観光庁1名、企業1名、高教職員7名の合計14名が参加しました。初めに研究代表者である日本大学宍戸学会員よりグループ研究の目的と計画が説明され、次いで文部科学省初等中等教育局教科書調査官(商業)川畑由彦氏による「高等教育における観光ビジネス教育の推進に向けて」の基調講演が行われました。これまでの初等中等教育における観光教育の経緯や学習指導要領における位置づけ、さらには海外の教育事例などが紹介された後、高校現場の参加者からは、高校の観光教育の現状と課題や高大連携に期待する点など多くの意見が出されました。限られた時間ではありましたが、高校と大学の教員が今後の観光教育を議論する貴重な場となりました。現在、研究グループは、高校現場へのアンケートを実施しており、それらの結果を踏まえて、第2回目の研究会を開催する予定です。

【機関誌編集委員会】

機関誌『観光ホスピタリティ教育』第16号

<投稿原稿募集のお知らせ>

日本観光ホスピタリティ教育学会の機関誌『観光ホス

【編集人より】

ニューズレターでは、会員の皆さまから提供された観光ホスピタリティ教育の情報や書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から2年以内の書籍(定期刊行物を除く)を扱います。ぜひ、情報を編集人までお寄せ下さい。

編集・発行人 坂本健成 (中村学園大学)
E-Mail: k.sakamoto@nakamura-u.ac.jp
FAX: 092-851-2531 (大学代表)

【学会 SNS アカウント】

Facebook

<http://www.facebook.com/jsthe.org/>

Twitter

<http://twitter.com/JSTHEducators>